

## 平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

広島県

行 事 名 称	第 64 回文化財防火デー 浄土寺消防訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 26 日（金） 13:30～14:00
実 施 場 所	浄土寺境内地（広島県尾道市東久保 20-28）
主 催 者	浄土寺、尾道市消防署、尾道市文化振興課

## ■実施内容

## 訓練の想定

長者ヶ原断層を震源とする大地震により、浄土寺阿弥陀堂内にある祭壇のローソクが倒れ出火し、隣接する国宝の多宝塔及び本堂に延焼の危険が生じた。また、本堂には数名の観光客が参拝中であった。

## 訓練の内容

浄土寺関係者による火災発見・通報・避難誘導・初期消火・文化財搬出訓練、消防署及び消防団による現場指揮・負傷者の人命検索・火災防ぎょ訓練・実放水による放水訓練

## 参加者及び役割分担

浄土寺関係者	（4 名）：119 番通報、初期消火、文化財の搬出、参拝者の避難誘導
尾道市消防局・消防署	（27 名）：全体統括、消火訓練、講評
尾道市消防団	（15 名）：ホース延長、放水訓練
自主防災組織	（15 名）：避難誘導、負傷者の処置
広島県防災航空隊	（6 名）：上空偵察、ヘリテレ伝送
尾道市文化振興課	（2 名）：現場立会

## 特に工夫した点

本堂南側から 2 線 4 口、東側から 1 線 1 口の放水銃を使用した阿弥陀堂への放水に加え、平成 27 年度浄土寺総合防災事業にて新設した自動放水銃放水銃により多宝塔に向けて一斉放水を実施した。

## 問題点・課題

## その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を認識する機会となるため、火災等に備え、文化財搬出及び避難誘導等が迅速に行うことができるように日頃から確認しておくこと、継続して訓練を実施することが重要である。

## 訓練風景

別紙のとおり



初期消火訓練



救助訓練



放水銃による放水訓練（阿弥陀堂）



自動放水銃による一斉放水（多宝塔）



上空偵察（地上モニターへ伝送）



講評（訓練終了後）